

埼玉親善大使 米国中高生向け交流事業

NPO法人AEA

教育は社会を変える小さなプロジェクト

2016年:本部を熊谷に設立

熊谷うちわ祭でのおもてなし活動開始

2018年:おもてなし奨励賞 受賞

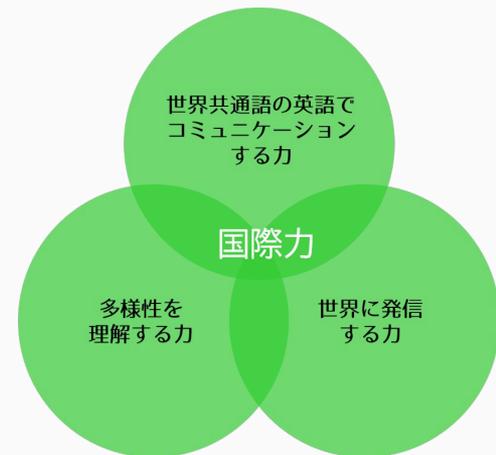
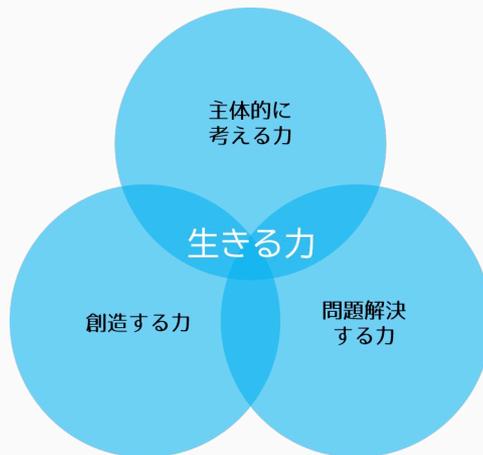
2022年:グローバル賞(未来への投資部門)受賞

2022年～4年間 埼玉親善大使 拝命

【メディア掲載】

日本経済新聞/読売新聞/毎日新聞/産経新聞
/Yahoo!ニュース/Karney Hub(米)/東京新聞/
埼玉新聞/朝日小学生新聞/朝日中高生新聞/
北日本新聞(富山)/北國新聞(石川)/福井新聞
(福井)

©NHK首都圏ニュース / J-com 他



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



埼玉グローバル賞受賞

埼玉親善大使

2022年
埼玉グローバル賞受賞・埼
玉親善大使任命



2023年
埼玉県たまサポとの合
同企画



2022年・2023年
寄居北条まつり
外国人おもてなし活動

2022年
うちわ祭取材/オンラインで
海外に向けて広報活動



直近での活動(2023年7月22日 熊谷うちわ祭にて)



外国人観光客 68名
埼玉親善大使のキッズ20名がうちわ祭の
英語ガイドOMOTENASHI実施



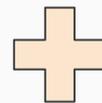
現状

- 高校生が有志で小中学生に日本文化を伝えている
- 日本語や日本文化について学びたいが、
講師や協力者の不足、現地での活動団体が無い。



米国イリノイ州アダムス中学校卒業生

現地の子どもたちの
「**学びたい!**」を手助け



埼玉親善大使として、埼
玉の魅力を**世界へ**

主役は子どもたち

実績
2018年
熊谷うどんの手打ち体験
(米国・ネブラスカ州ネブラスカ大学)



子ども主
体の運
営

広報
活動

体験型
ワーク
ショップ

日米合同
報告会

現地講師及び学生の起用

高校・大学
近隣住民
AEAネブラスカ支部

現地講師、学生主体
で実施

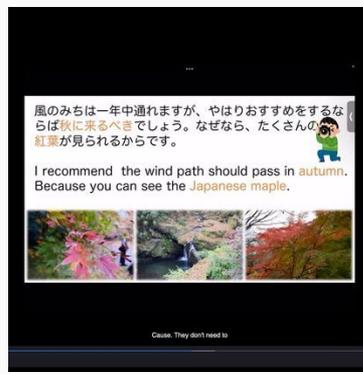
オンラインにて
日本語/英語の2言語で
開催

オンラインでの の日本文化・ 日本語の継承

実績
2020年～現在
コロナ禍もオンラインで継
続して活動



現地子ども達 による継続的 なワークショップ 開催



交換留学

実績
2023年7月
現地校より留学生1名受け入れ



申請金額 : 500,000円

自己資金 : 1,469,004円

派遣諸費 915,804円(交通費)
150,000円(宿泊費)
人件費 302,000円
通信運搬費 65,400円
事業費 813,600円
(事業費内訳あり)

事業費内訳 : 813,600円

協力者報酬
通信運搬費
機材レンタル
材料費
SNS掲載費
広告作成委託費
保険料

※現状の課題※

これまでの活動は全て持ち出しでの活動
埼玉親善大使として思うような活動ができていない現状

対象地域/実施体制



NPO法人AEAスタッフ 3名派遣

外部講師

- Reina Horikawa 様
(アダムス中学校教師)
- (株)田野製麺 様
- うどん体験処よりみち屋 様

+

現地学生ボランティア